

自民党は関係断て

TBS番組 小池書記局長が迫る

日本共産党の小池晃書記局長は3日、BS-TBSの番組「報道1930」に出演、自民党に旧統一協会との関係の解明と断絶を求めました。



小池晃書記局長

岸田首相「個人の問題」と逃げ

自民党は旧統一協会との組織的関係を否定しています。小池氏は「靈感商法や高額献金で多くの人が人生を壊されている。(協会が)政治家の名前を出して広告塔にし、見返りにカネと票を回してきた実態を徹底解明しなければならない」と強調。岸田文雄首相は個人の問題だとして逃げようとしていると指摘し、「なぜ自民党として調査し、協会との関係を断ち切るといえないの

か。実態解明と再発防止という政治の責任に背を向けている」と厳しく批判しました。

番組では旧統一協会の名称変更も話題に。小池氏は、文化庁が20年弱にわたり協会の申請を拒否してきたのに、2015年に突然受理した経緯について、「官僚だけで判断を変えられるわけがない」と指摘。受理前後に当時の下村博文文部科学相が報告を受けていた問題に触れて、政治介入が強く疑われると述べました。

野党ヒアリングで発言する前川喜平氏(中央)=5日、国会内



前川文科が証言

6野党・会派が5日開いたヒアリングで、前川喜平・元文部科学事務次官は旧統一協会の名称変更について、政治的圧力の可能性を証言しました。

統一協会は前川氏が文化庁宗務課長当時の1997年、名称変更を求めてきましたが、「実態が変わっていないのに名前だけを変えることはできない」と拒否。ところが、前川氏が文部科学審議官となった2015年、文化庁は名称変更を突然、認証。前川氏は「文科大臣だった下村博文さんの意思が働いたことは100%間違いな

名称変更
下村氏の意思働いた

いと思っています」と述べました。葬」や旧統一協会の問題など課題は山積しています。重大な課題の議論を回避するのは、政府・与党の責任回避です。共産党は会期延長を求めました。

台湾への中国の 軍事的威嚇 強化に抗議する

志位
委員長
談話

中国は、米・ペロシ下院議長が台湾を訪問したことへの対抗措置として軍事演習を行い、日本近海に複数のミサイルを着弾させました。日本共産党はかねてより▽台湾問題解決には、台湾住民の民意を尊重すべき▽中国の軍事的圧力・威嚇強化に強く反対する、と主張。志位和夫委員長はこの立場から5日、「地域の平和と安定に逆行する、台湾に対する中国の軍事的威嚇強化に強く抗議し、その中止を求める」と表明しました。

一方で米国が台湾問題への軍事的関与を強化し、日本政府が追随していることについて、「軍事対軍事」の悪循環に陥る危険をはらんでおり、「日米両国が、台湾問題に軍事的に関与する方向に進むことにも断固反対」と表明しています。

会期3日
責任回避
臨時国会

参院選を受け3日に開会した臨時国会は、何の審議も行わないままわずか3日間の会期で5日に閉会しました。新型コロナの感染拡大や物価高騰、安倍元首相の「国